



Y. P記者（ロシア）

マトリョーシカとは何か？

「マトリョーシカ」という物を紹介したいと思う。「マトリョーシカ」というのは、世界中で知られているロシアの人形である。初めて 100 年くらい前にロシアの「マリューチン」という画家によって作られ、これまでにロシア人の間はもちろん、外国人の間でも人気があるだろう。

「マトリョーシカ」はなぜ「マトリョーシカ」と名づけられていたか、と言うことについて述べたいと思う。昔ロシアには、「マトリョーナ」という女性の名前があって、これはラテン語の「お母さん」の意味を持っている「mater」と言う言葉から来たのである。だからこの名前は、健康に生きている大きな家族のお母さんの象徴だった。それで家族の象徴として作られた「マトリョーシカ」はこの名前と呼ばれた。現在でも、一つのいわゆるお母さんの人形の中に多くの人形が入っているのは、大きな家族の象徴である。

次に、「マトリョーシカ」は、なぜロシアに現れてきたかについては、諸説ある。その一つによると、「マトリョーシカ」の原型は昔からの日本のこけし人

形といわれる。

別の説によると、すべては、19世紀のモスクワに日本から、賢者「福祿寿」の置物がもたらされたことに始まるそうだ。それは「入れ子」になっていた。ロシアの職人たちはとても気に入り、同じような構造の置きものを作り始めた。しかし、もちろん、絵はロシア風で女性を描いた。

昔、中に入っている人形は違ったが、今は同じ形になった。人形の数も3個から50個までのものもある。「マトリョーシカ」は、白樺と菩提樹での全部手作りだから、それぞれ似ているようで違っているのである。

今では、「マトリョーシカ」はロシアの代表的なお土産である。



私は、「マトリョーシカ」が大好きだ。今、住んでいる小さい東京の部屋の本棚に置いてある「マトリョーシカ」は、私にとって、遠い母国の明るい象徴である。勉強がうまくいかないときとか、色々な問題が起こる時とか「マトリョーシカ」のニコニコしている顔を見ると、心が落ち着いて、またがんばりたいという気持ちが出るのである。

(2006/03/06)